

国立公園指定等の動き

奄美・琉球の世界自然遺産登録を目指して、また、国立・国定公園総点検事業の結果も踏まえ、国立公園指定及び拡張等に関する検討を行っている。

1. 奄美地域の国立公園指定

(1) 経緯

- 平成 15 年 5 月 「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美群島を含む琉球諸島が世界自然遺産候補地として選定される。
- 平成 19 年 3 月 「国立・国定公園の指定及び管理運営に関する検討会」において、“奄美群島及びやんばる地域の照葉樹林は国立公園の指定も視野に入れた、より詳細な評価を行う必要がある”とされた。
- 平成 21 年 1 月 国立公園を指定する際の基本指針となる「奄美地域の自然資源の保全・活用に関する基本的な考え方」（那覇自然環境事務所）をとりまとめた。
- 平成 22 年 10 月 国立・国定公園総点検事業の結果、国内最大規模の亜熱帯照葉樹林や固有種が集中的に分布する特徴的な生態系等が評価され、国立公園の資質を有する地域として選定された。
- 平成 26 年 7、8 月 中央環境審議会委員による奄美群島（奄美大島及び徳之島）の現地視察が実施された。

(2) 現状

奄美群島国立公園（仮称）の区域案及び公園計画案を作成し、早期の国立公園指定を目指し、関係者等との調整や地元への説明等を行っているところ。

2. やんばる地域の国立公園指定

(1) 経緯

- 平成 14 年 7 月 沖縄県が案を作成し、国が策定した沖縄振興計画において“国頭 3 村にまたがる広大な森林地域については、適切な保全管理や多面的活用をはじめ、国立公園化を検討する”とされた。
- 平成 15 年 5 月 「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美群島を含む琉球諸島が世界自然遺産候補地として選定される。
- 平成 20 年 3 月 検討会や地元での意見交換会を経て「やんばる地域の国立公園に関する基本的な考え方」（那覇自然環境事務所）をまとめた。
- 平成 22 年 3 月 沖縄県が「沖縄 21 世紀ビジョン」を策定。“やんばる地域における国立公園化や外来種対策、サンゴの移植・再生などサンゴ 礁保全対策等を推進し、琉球諸島の世界自然遺産への登録を推進する。”
- 平成 22 年 10 月 国立・国定公園総点検事業の結果、自然性が高くまとまりのある亜熱帯照葉樹林や固有種・絶滅危惧種が集中的に分布する特徴的な生態系等が評価され、国立公園の資質を有する地域として選定された。

(2) 現状

関係機関・関係者や地元に対して、制度や現状についての説明会を実施するほか、国立公園の区域指定の考え方を含め、早期の国立公園指定に向けた調整を地元働きかけているところ。

3. 西表石垣国立公園の拡張

(1) 経緯

昭和 47 年 5 月 西表国立公園の指定。
平成 15 年 5 月 「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美群島を含む琉球諸島が世界自然遺産候補地として選定される。
平成 19 年 8 月 石垣地域を編入し、西表国立公園から西表石垣国立公園に名称変更。
平成 22 年 10 月 国立・国定公園総点検事業の結果、西表島及びその沿岸海域には原生的な亜熱帯林と国内最大規模のマングローブ林、サンゴ礁等が分布していることから国立公園の拡張を検討する地域とされた。
平成 24 年 3 月 公園区域及び公園計画の一部変更（海域公園地区の追加・拡張等）。

(2) 現状

西表島の陸域の早期の公園区域拡張を目指し、公園区域案及び公園計画案を関係機関・関係者と調整しつつ作成しているところ。

(3) 参考

崎山湾自然環境保全地域（西表島）も併せて拡張すべく、調整中。